

イラク安全対策
(バスラ上水プロジェクト実施例)

2017/2/28

株式会社 日立製作所 水ビジネスユニット

発表者名: 関 茂

1. プロジェクト概要

- 1.1. プロジェクトの背景
- 1.2. プロジェクト位置図
- 1.3. 需要者・注文主
- 1.4. プロジェクト実施フォーメーション
- 1.5. 全体施設計画と各パッケージの施工内容
- 1.6. Al Hartha浄水場全体配置図

2. リスク対応例と体制

- 2.1. リスク対応例
- 2.2. 連絡体制

3. バスラ出張時手続き

- 3.1. イラクビザ
- 3.2. バスラ渡航計画
- 3.3. 予防接種

4. PSD (Personal Security Detail) 手配

- 4.1. PSD

5. バスラ出張時

- 5.1. バスラ空港到着時
- 5.2. 空港荷物検査
- 5.3. PSD移動(空港⇔サイト及び宿舎)

6. 血液検査・出国ビザ手続き

- 6.1. 血液検査
- 6.2. 出国ビザ

7. バスラサイトでの行動

- 7.1. 事務所内での業務
- 7.2. サイトでの業務
- 7.3. セキュリティコミッティ

8. 宿舎(Iraq Energy City)

- 8.1. 新規利用時の安全入所時講習
- 8.2. 宿舎滞在時の注意事項

9. 医療設備(International SOS Clinic)の利用

9.1. International SOS Clinic(ISOS Clinic)

9.2. 利用方法

10. 緊急時の対応

10.1. サイト及びサイト内事務所で業務中に発生した場合

10.2. PSDで移動中に発生した場合

10.3. 医療設備への搬送

1. プロジェクト概要

1.1 プロジェクトの背景

バスラ市はチグリス川及びユーフラテス川流域の末端に位置する人口約135万人(2010年)の都市であるが、近年、人口の急増、上水道施設の老朽化、施設能力の低下が著しく、慢性的な水不足の問題を抱えている。

本プロジェクトは、かかる給水状況を緊急的に改善することを目的とし、円借款及びイラク自己資金により、新規浄水場の建設を行うものである。本上水道整備プロジェクトは、2つのパッケージから構成されている。

パッケージ3 (P3): Al Hartha 浄水場(前処理)の建設(円借款):

パッケージ4 (P4): Al Hartha 浄水場(UF/RO)の建設

(イラク自己資金):

1.2 プロジェクト位置図



バスラ国際空港 - サイト：約20km

バスラ国際空港 - IEC：約25km

IECーサイト：約45km

1.3 需要者・注文主

需要者・注文主

- ・イラク公共事業省 (旧名称)

Ministry of Municipalities and Public Works (MMPW)

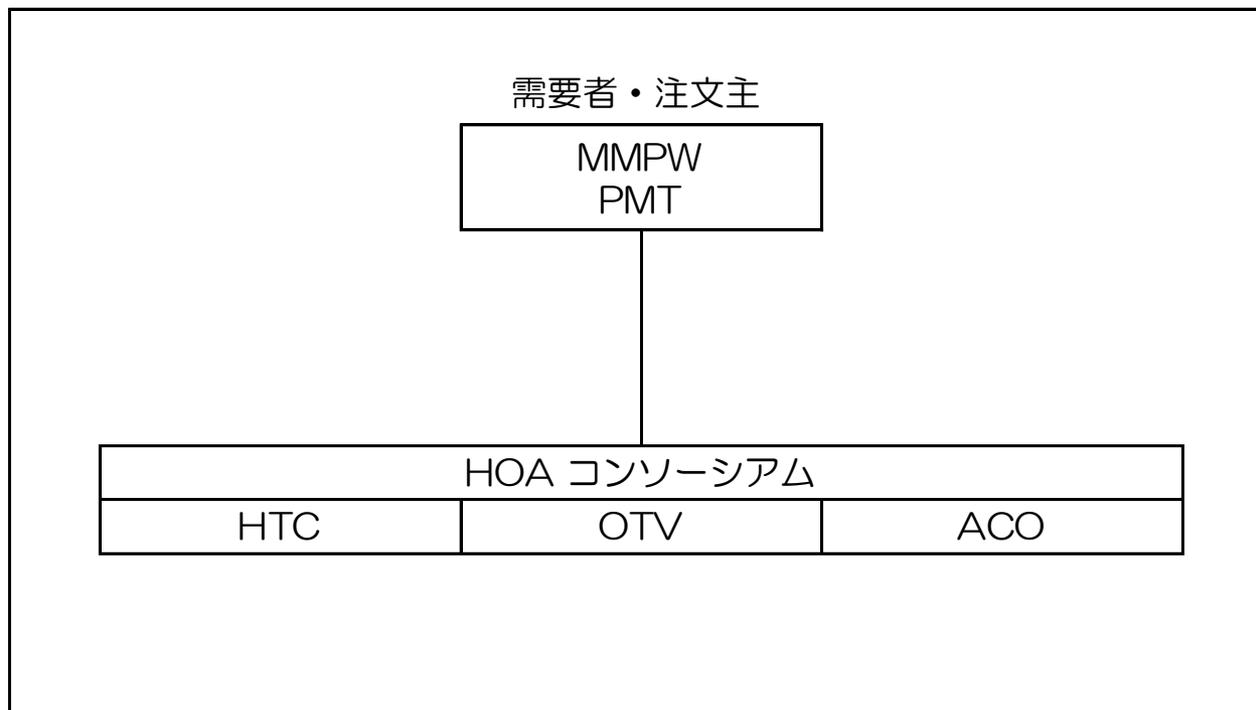
- ・(新名称)

Ministry of Construction & Housing and Municipalities Public (MCHMP)

- ・プロジェクト実行組織

Project Management Team (PMT)

1.4 プロジェクト実施フォーメーション



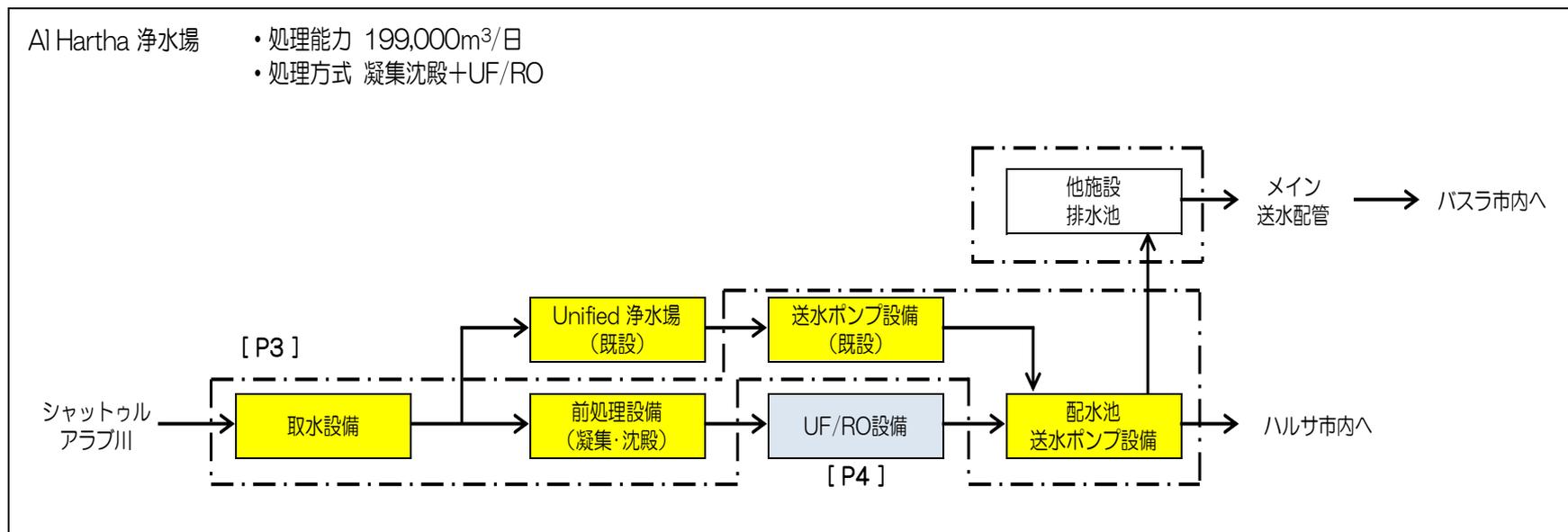
HTC : Hitachi, Ltd.

OTV : OTV (フランス)

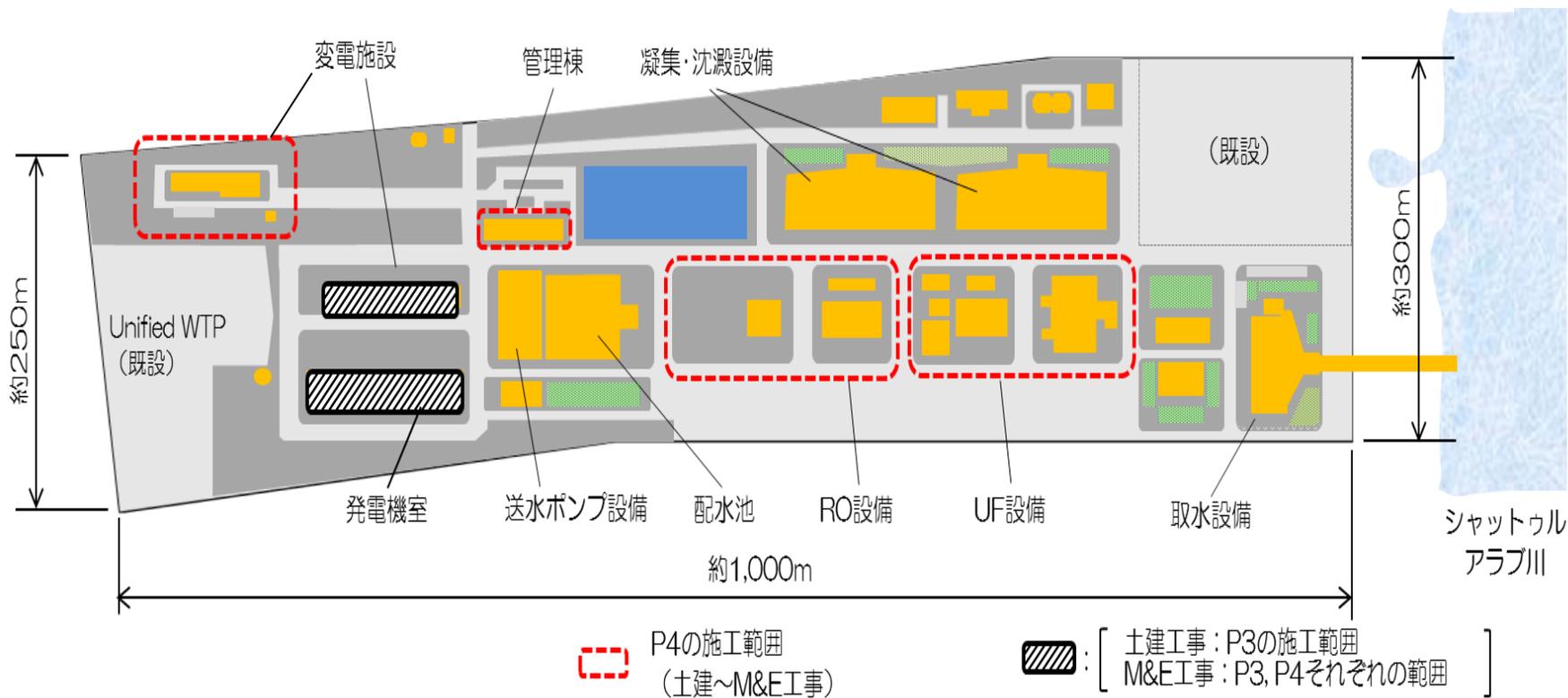
ACO : The Arab Contractors (エジプト)

1.5 全体施設計画と各パッケージの施工内容

- ・ P3で建設される前処理設備の処理水はP4のUF/ROに供給される。
- ・ P4で生産された処理水(生活用水、飲料水)は、他施設の配水池に送水され、そこからバスラ市内へ一括送水される。



1.6 Al Hartha 浄水場全体配置図



2. リスク対応例と体制

2.1 リスク対応例

- (1)人命第一、危険な行動は行わない。
- (2)イラク入国後の全ての移動はPSDを利用しています。
- (3)セキュリティ会社からセキュリティマネージャーを雇用しています。
- (4)出張前の必要手続きを100%実施しています。
 - ・海外渡航スケジュール表を作成し、社内手続きを行っています。
 - ・たびレジへの登録。
 - ・外務省海外危険情報の確認。

2.2 連絡体制

緊急時の連絡

緊急時は社内連絡体制表に従って速やかに連絡しています。
また、在イラク日本大使館、JICAイラク事務所と連絡を取り合う為、
連絡先の番号は各自携帯に登録しています。

3. バスラ出張時手続き

3.1 イラクビザ

- ・イラク入国時はマルチビザ(1年間有効)を取得しています。

3.2 バスラ渡航計画

(1) バスラ出張日程

イラク出張日程の決定には血液検査、出国ビザの取得日程を考慮しています。

- ・血液検査
- ・血液検査スタンプ取得
- ・出国ビザ取得

(2) 大使館、JICAへ渡航報告

- ・毎月2回、渡航計画書を、外務省、在イラク日本大使館、JICAに事前提出しています。

3.3 予防接種

(1) 必要とされる予防接種（日立の場合）

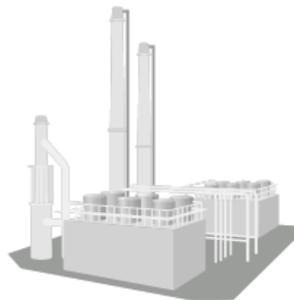
渡航前に産業医推奨の8種の予防接種をあらかじめ接種しています。
(A型肝炎、B型肝炎、破傷風、**狂犬病**、腸チフス、コレラ、ポリオ、髄膜炎)

4. PSD (Personal Security Detail) 手配

4.1 PSD



空港



サイト



ホテル



防弾車



防弾ベスト着用

5. バスラ出張時

5.1 バスラ空港到着時



マルチビザ初回



“10日以内に血液検査を受け、Exit Visa を取得すること”
(アラビア語)

5.2 空港荷物検査



荷物受け取り・X線検査



・2016年10月に酒類の販売、輸入、製造を禁止する法律がイラク国会で可決された為、日立では酒類のイラクへの持ち込みを禁止しています。

5.3 PSD移動(空港⇔サイト及び宿舎)



Security Manager

IDバッジ(サイト内常時着用)



返却(サイトを離れる時)



6. 血液検査・出国ビザ手続き

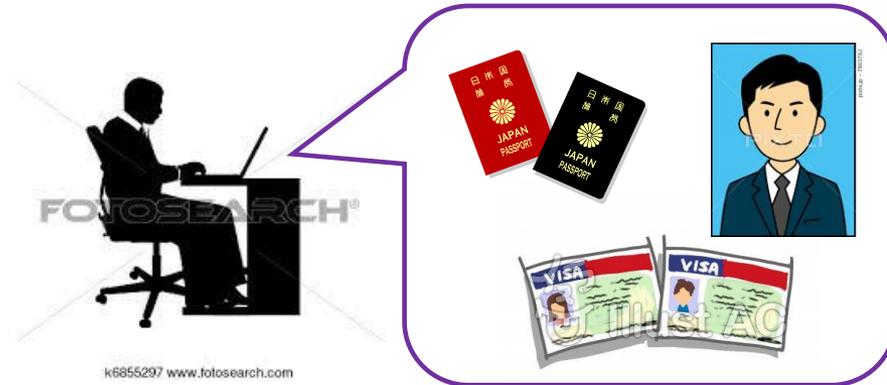
6.1 血液検査

- ・新規ビザ取得後イラクに延べ10日間以上滞在の場合、または10日未満でも2回目の滞在時は出国ビザが必要
- ・1日目は血液検査、2日目はスタンプ取得、3日目は出国ビザ取得と、取得に3日間要する。



(1) 手続きに必要なデータ

※検査有効期限:6ヶ月



(2) 検査当日必要品



バスラ市内の指定
クリニックで採血

6.2 出国ビザ

(1) 出国ビザ



要取得



Departure and returning visa
(通称: 出国ビザ、Exit Visa)

10日以内の滞在なら2回目の入国時でも出国ビザ取得可能です。

(2) 出国ビザ取得に必要な書類



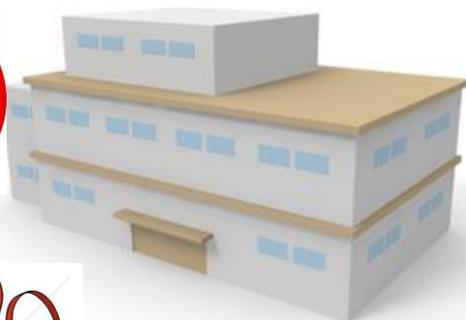
有効期限内の
血液検査スタンプ
が捺されている
パスポート



7. バスラサイトでの行動

7.1 事務所内での業務

(1) 業務中の行動



- ・名前
- ・行き先
- ・時間

セキュリティマネージャーの判断により、
終業時刻は変更する
場合があります。



事務所内



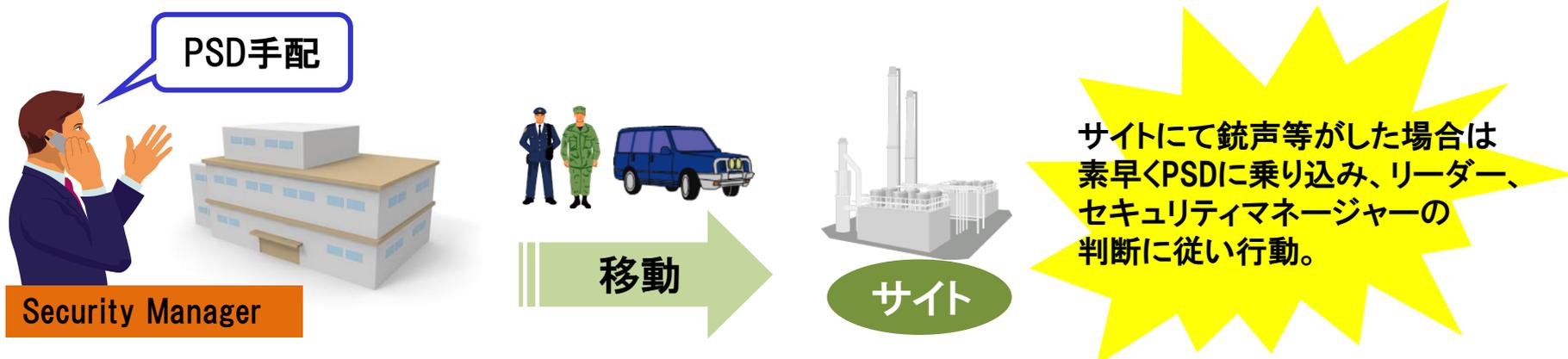
事務所エリア内



緊急時用リュックサック



7.2 サイトでの業務



・事務所エリアより出てサイトで業務を行う場合は、必ずPSDと共に移動しています。

7.3 セキュリティコミッティ



毎週木曜日

8. 宿舎(Iraq Energy City)

8.1 新規利用時の安全入所時講習



8.2 宿舎滞在時の注意事項



9. 医療設備 (International SOS Clinic)の利用

9.1 International SOS Clinic (ISOS Clinic)



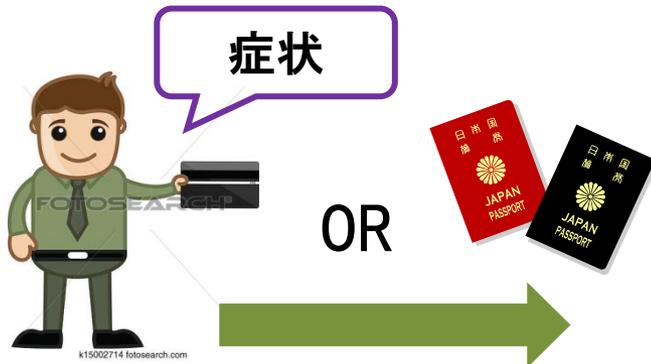
ISOS Clinic
(HTCと契約)

出張者はIraq Clinic Planに登録され、登録カードが配布されている



Iraq 国外での治療が必要な場合はISOSがドバイ等への搬送を手配

9.2 利用方法



症状

OR

International SOS日本語
アラームセンターの支援を
受けることができます。

ISOS Clinic受付

10. 緊急時の対応

10.1 サイト及びサイト内事務所で業務中に発生した場合



10.2 PSDで移動中に発生した場合

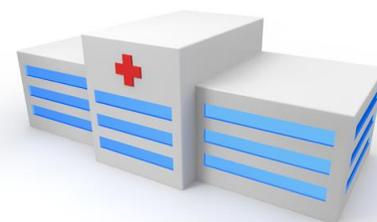
防 弾



10.3 医療設備への搬送



移動



ISOS Clinic

HITACHI
Inspire the Next 